

森のおくりもの9月



シュレーゲルアオガエル（アオガエル科）



現在、自然観察センター内ではシュレーゲルアオガエルの生体展示を行っています。これは当センターのレンジャーが卵を採取してここまで育ててきたものです。カエルの飼育・展示は今回初めての試みとなりますので、飼育ケース内の環境づくりなど試行錯誤しながら育てているところです。

何より大変なのがカエルたちの餌の確保です。調べてみると、市販されているカエル用の餌も慣れてくれば食べるようですが、まだそこまでには至っておらず、小さな虫を日々採集して与えています。餌を食べるのは主に夜間ですので、日中にたくさん虫を入れても、翌日の朝にはほとんど食べつくされており、一匹一匹のサイズはそれほどではありませんが、なかなかの大食漢です。当センターを訪れた際には、レンジャーが手塩にかけて育てているカエルの展示をぜひご覧いただけたらと思います。【写真・文 近藤晋也】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『一草一木各一因果（いっそういちぼくかくいちいんが）』

今年の夏は、長雨の後に猛暑で8月末になっても暑さが続きました。梅雨明けが遅れ、気温が高く日照時間が長い夏らしい時期がずれたようになったことが影響したのかわかりませんが、いつもの夏よりセミや大型甲虫などの昆虫の出現が少なかった印象があります。

生物が生息する上では、四季ごとのその季節らしい気候がいいのですが、気象状況は一定ではなく年により異なります。今年の長雨は、冬に雪不足だったからその分の降水量を補ったものだとしたら、自然はすごいなあと思います。

『一草一木各一因果』という言葉がありました。「草や一本の木にいたるまであらゆるものには、その原因と結果があって存在しており、全てにそれなりの個性がある」という意味です。植物だけでなくあらゆる生きものは、決してそれだけで生きているのではなく、他の様々な生きものや環境と関係し合っていて、多様な世界があるということです。簡単な文字で構成されていますが、自然の摂理を表現していて、深い意味があると感じました。

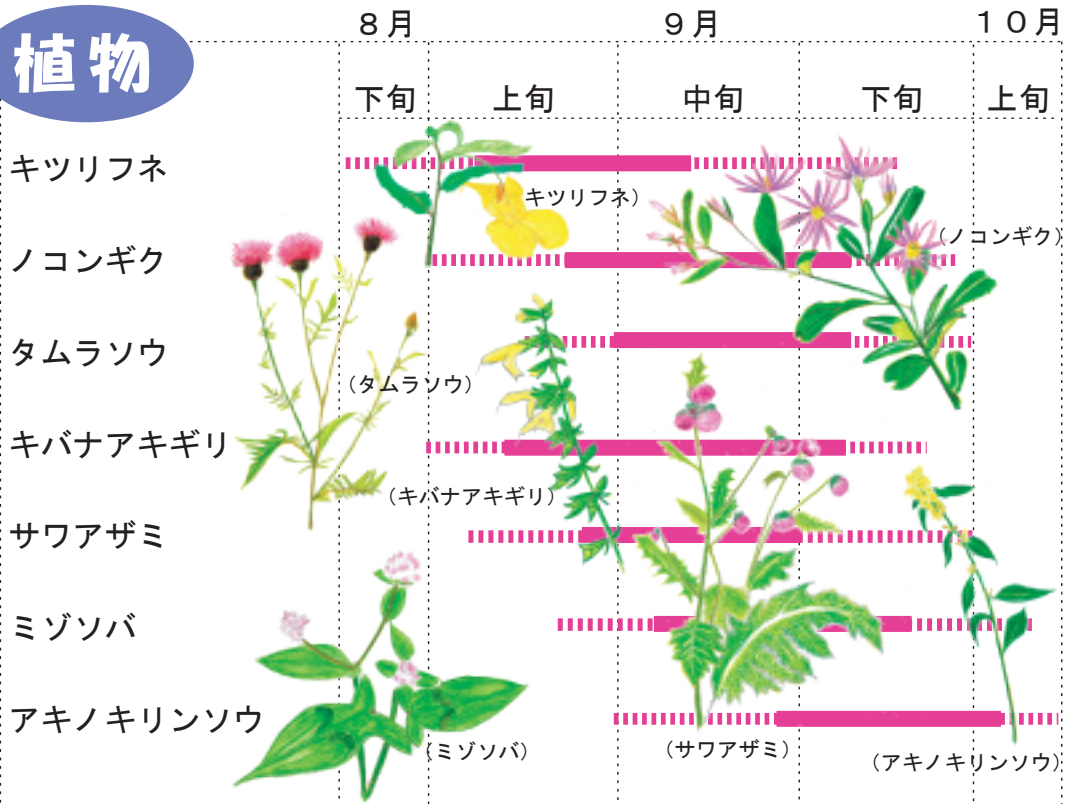
最近報道される最高気温の記録更新や雪不足などの異常気象と思える状況には、自然への影響が心配になります。近年起きている気象に関する現象が、単なる自然の営みの内ならいいのですが、人間の影響による気候変動が原因だとしたら、そのことで絶滅する結果となることもあり得ます。我々がいつまでも自然に親しむことができるよう、自分の行動で自然を失うことにはしたくないと思いました。

【レンジャー：新田隆一】

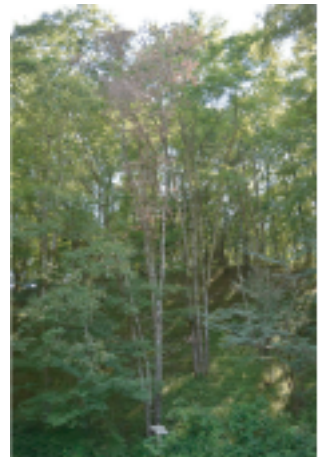


9月の生物ごよみ

植物



ここ数年の間、この周辺の森では8月の中頃からナラ枯れが進み、コナラやクヌギなどが一気に枯れ始めます。ナラ枯れとは『カシノナガキクイムシ』という4～5ミリの甲虫がコナラやクヌギなどの落葉広葉樹の幹に入り込み、体に着いたカビの一種「ナラ菌」が幹の水の通りを悪くさせて、樹木が枯れてしまう伝染病です。センター前のコナラも葉がしおれ、赤褐色に変色しました。景観を損なうだけではなく、倒木などの被害を引き起こす危険性もあります。原因は一概には言えませんが、森を利用しなくなったことがひとつの要因にあります。昔は生活のために木々を切り、木材や燃料として利用していましたが、今の時代は利用されることなく放置林となっている山々が多くあります。山を手入れもせず放置することは自然を守る事ではなく、かえって荒れさせる原因にもなります。カシナガは太くなった樹木をターゲットとして選ぶようなので、手入れしないことがひとつの要因なのかもしれません。きれいな山々を残すために人が手を入れることも必要なのです。



ナラ枯れのセンター前のコナラ

【レンジャー：齋 正宏】

森の「おとしもの」



「まだ見ぬゴマダラチョウ」

写真① 8月8日(土) 10:31 撮影。

ゴマダラチョウの幼虫です。エノキの葉を食べて成長し、成虫は黒地に白のきれいな姿になります。楽しみですが右側真ん中より少し上のあたりの黒いしみが気になります。

写真② 8月9日(日) 10:56。

一日のうちに体は折れ曲がり動かなくなっていました。寄生バチなどの仕業?それともカメムシなど他のいきものに襲われたのか?よくわかりません。ケースに隔離すればもっと詳しく観察できたけど。でもガイドウォークがあったし…。

写真③ 8月13日(木) 19:07。残ったのは硬い頭部のみでした。

観察の時間が増えて気づいたのは、「生きのびて命をつなぐのは当たり前でない」という事です。一頭の蝶の姿の陰で多くの卵や幼虫や蛹が死んでいます。以前よりも目の前の一つの命を愛おしく感じています。

【レンジャー：木田秀幸】



写真①



写真②



8月8日撮影
何者かに食べられたの?ゴマダラ
チョウの翅だけが。
今年はまだなかなか出会えません。



写真③

森は糸

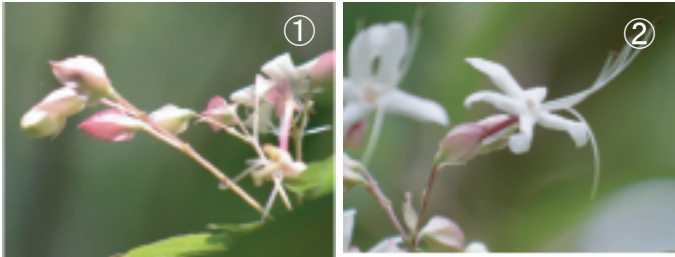


森は布

森は様々な生き物が互いにつながって
森として生きているんですね (*_*)

「行きすぎて 常山木 (クサギ) の花の匂いけり」

ガイドウォークで、いこいの道を進んでいた時に、「クサギ」の花が咲いていました。その時、参加者の方からこの句を教えてくださいました。高安風生という俳人の作品だそうです。ほのかな香りに気付くとそこにクサギの花が咲いていたのでしょうか。そんな風景が浮かんできます。ところで「クサギ」は「臭木」の字を当てることが多いように葉や枝に触れると独特の「臭い」がします。風生さんの「花の匂いけり」は、「花の臭いけり」ではなかったと思うのですが、・・・「クサギ」について調べてみるとなんか面白いことがわかってきましたよ。 (^_^)



写真の①の左端の部分ががく（薄いピンクの部分）から突き出たつぼみです。がくは花が終わっても残ります。写真②では、花弁が開き4本のおしべが出て花粉をつくる時期（雄性期）、そして写真③ではおしべがしおれ1本のめしべが活動する時期（雌性期）があり、自家受粉しないような仕組みがあります。ところで花弁はジャスミンのようないい匂いがしましたよ。 (^_^) 【レンジャー：菅原幸彦】

◆クサギ◆

シソ科落葉小高木

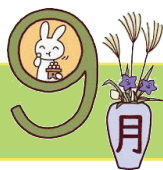
別名：クサギリ、クサギナ

花期：8月から9月

江戸時代には「瘡の虫」を治す薬の木として名がある。松尾芭蕉の句に「枝ながら 虫売りに来る クサギかな」と詠まれており、クサギの木に潜り込んだ「コウモリ蛾」の幼虫を串にさしてあぶったものが盛んに売られていたようである。 (^_^)



花が終わったあと、10月ごろになるとイラストのような青黒い実ができます。赤い部分はがくです。再び花が咲いたようできれいですよ。ぜひ見に来てください！！



9月のイベント&お知らせ

◆イベント開始5分前までセンター前に集合してください。

◆「秋の鳴く虫かんさつ会」 9月12日(土)18:00~19:30

・太白山に生息する鳴く虫の観察会です。

【定員】小学生以上10名【持ち物】懐中電灯、飲物、虫よけ対策をして

【申込み】9月6日(日)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆「秋色の森の自然遊び」 9月26日(土)10:00~11:30

・草花などを素材にして遊び、自然に親しみます。

【定員】5歳以上の子供とその保護者10名【持ち物】飲み物、虫よけ対策をして

【申込み】9月8日(火)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆「きのこ観察会」 10月3日(土)10:00~11:30

・キノコの専門家と秋の森でキノコを観察します。

【定員】小学生以上15名【持ち物】帽子、雨具、飲み物、虫よけ対策をして

【申込み】9月9日(水)午前9時から電話で受付〔先着順〕

◆「人と森にふれあう一日」 10月10日(土)10:00~15:00

・参加者同士で交流しながら自然観察やネイチャーゲームで自然に親しみます。

【定員】18から50歳までの方15名【申込み】9月30日(水)までEメール

(taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp)で受付〔応募多数の際は抽選〕

◆新型コロナウイルスの感染拡大や天候の急変等でイベント中止・短縮の場合があります。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

開催予定:6日,13日,20日,27日

開催時間:10:00~11:30, 13:30~15:00

今月のテーマは「初秋の森の楽しみ」

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

9月の休館日

7日(月)、14日(月)、
23日(水)、28日(月)
※月曜火曜が祝日の場合
水曜日が休館

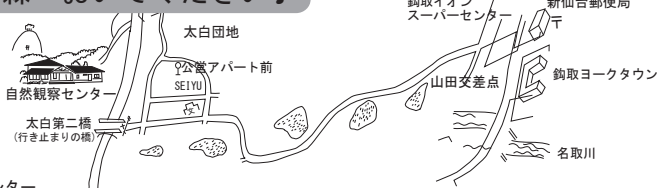
宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白山地經由山田自由ヶ丘庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白山地、山田自由ヶ丘經由仙台南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→徒歩15分

お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白山地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2020年9月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「杜のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>